

## 地震対策

### 改良住宅の耐震診断について

必要性を感じている／まちづくり課長



むらこし ひさお 議員  
村越比佐夫

答

浜田まちづくり課長

大方地区は18年3月に耐震診断を3カ所しているが、佐賀地区については行っていません。

また、対象者との話し合いの必要性も感じているので検討する。

問

黒潮町改良住宅の耐震診断を早急に行うべきではないか。聞いたところによると、大方地区の改良住宅は18年度3月に実施しているとのこと。佐賀地区の改良住宅は大方地区に比べ構造上悪くはあっても良くはないだろうと考える。そこで、新たに費用を費やし調査をするよりその資料を元に地元へ具体的に今後の改良住宅の取り扱いについて対象者と話し合いをする必要があるのではないか。

高規格道路	中角インター 住民説明を
	準備している／町長

問

中角インターの関係で宅地造成をしているが、立ち退き対象者や地元住民に対して具体的説明はどうなっているのか。

答

大西町長

担当課長とも協議をし、地元説明会の開催のための準備を要請しているところ。

学校事故	入野小学校児童の 事故について
	積極的に協議する ／教育委員長

問

入野小学校児童の事故は教育委員会も把握し、対応していたが、事故に関連して調停依頼嘆願書が県の教育長宛に提出された。そして高知新聞にも取り上げられるという現

状を踏まえてこれまでの教育委員会の対応・姿勢が問われているのではないかと。その状況を把握するべきではないか。

また、児童も今現在は入野小学校に在籍していないという状況も危惧すべきであって、関係者とも連携協力し児童の将来を一番に考え行動すべきではないか。

答

生駒教育委員長

坂本教育次長

大西町長

現在児童は高知市内の病院に入院しており、院内分室に在籍している。今年5月30日付で高知新聞に取り上げられた調停依頼嘆願書については、2月19日に児童の主治医から県の教育長宛に提出をされたもので、6項目の解答を求めている。

教育委員会としては、嘆願書が提出されてから3月5日に県教委・西部教育事務所、学校、保護者、PTAと、今後児童が入野小学校へ安心して帰ってこられるような体制を作るためにどのようなことをすればいいかについて話し合いを行い、これに対して学校も取り組みを行っている。報告書を読ませていただき重要視しなければならぬのは、2点あると思う。1点目は、現段階における児童の精神的、肉体的ケア。2点目は児童の将来について。町としても、できるだけ児童が入野小学校へ復学出来ることを望むものであり、その環境整備に一生懸命取り組んでいくつもりだ。

これからは保護者の方とはもちろん、県教委や高知市教委にも行き、積極的に協議を重ねていきたい。

